

平成28年(2016年)12月7日(水曜日)

三島駅南口の東急ホテル

16階建てツイン主体200室

市が事業概要公表 富士山眺望を優先

三島駅南口西街区で計画中のホテル建設事業予定者に東京急行電鉄(東京)が選定されたことが正式発表された6日、三島市は事業概要を併せて公表した。ツインルーム以上の客室を7割以上とするシティーホテルで、地上16階建て(56・33)に200室を完備。富士山の眺望を優先した空間を創出する。(三島支局・河村英之)

東急電鉄は事業提案「主体とする意図として、家族向けの客室を」

の継続的な観光需要の導入や地元の雇用確保も約束した。

調した。市が西街区を観光交流拠点に位置付けている都市ビジョンを踏まえ、建物デザインは市立公園楽寿園など自然環境との調和を図るほか、富士山の新たな眺望地点を設ける。

一部市民から懸念が指摘される地下水への影響については、くい

を打たない直接基礎を採用し、地下の水面から基礎底面まで10以上離す。

特産品やこだわりの味を提供するテナント

ホテルの開業は2020年4月を予定。



東急電鉄が示したホテルのイメージ図